１９９７年記録

八杉満利子
京都産業大学
e-mail: yasugi@cc.kyoto-su.ac.jp

目 次

1　出版

- 学術論文

    1. Mariko Yasugi and Masahiro Nakata, NDK and Natural Reasoning, Prodeedings of the Sixth Asian Logic Conference, Bijing 1996, World Scientific, to appear in August 1998.
    2. 八杉満利子　解析におけるアルゴリズム–Pour-El 理論電気学会研究会資料　情報処理研究会　I P-97-13-21 テーマ「Computation とカオス」、１９９７年９月１２日、１３日　電気学会、IP-97-21,53-58
    3. Editor Proceedings of the 6th ALC, World Scientific 1998 March

- 一般記事等

    1. 数学セミナー　日本評論社　１９９７年４月「9年目の北京：アジア論理会議」　八杉満利子、40-43
    2. 数学の楽しみ　日本評論社　夢絃ゆう言「微分·積分の思い出]　八杉満利子　１９９７年５月 pp 2-3 c
    3. 数学　日本数学会編集　岩波書店発売　１９９７年７月第４９巻第３号

        ＜日本数学会５０周年記念企画「数学の流れと展望」＞

        「証明論の思い出–無矛盾性証明を中心に–」　八杉満利子　292-296
    4. 平成９年度京都府科学技術審議会の開催結果概要　(平成９年２月１９日　水)

- 翻訳
  1. ALC:Asian Logic Conference translated from ”Sugaku” Proceedings of ALC’96, World Scientific

2 委員等

- 日本数学会　評議員・理事　（会議　４月１日　於信州大学・松本、７月 ?日於数学会会議室、９月３０日　於東京大学・駒場）

  日本数学会　国際交流委員会委員　（会議　４月１日於信州大学・松本）
- 科学基礎論学会　評議員　（会議　６月７日　於北海道大学・札幌）
- 日本数理科学協会年会・研究代表者（論理数学）
- 日本数理科学協会 Scientiae Mathematicae　編集委員　(Group Logics) 1997/8 より 1999/3 まで
- ASL Committee on Logic in Japan and Asia, Chair
- 数理解析研究所　専門委員
- 科学研究費・奨励Ｂ　審査員
- 京都府科学技術審議会　委員　３月４日（水）10:00am - 11:30am

  京都府公館　レセプションホール

  議題　地球温暖化防止京都会議を契機とした環境産業の育成について
- Editor Journal of Universal Computer Science
- Editor Proceedints of the 6th ALC, World Scientific, March 1998
- 日本数理科学協会 Scientiae Mathematicae　編集委員　(Group Logics) 1997/8 より 1999/3 まで

3 談話会等

- 北陸先端・情報科学研究科談話会

  平成９年７月２日（水）１５時３０分ー１７時００分

  北陸先端科学技術大学院大学　Ｉ講３・４番

  「解析における計算可能性構造」

- 金沢大学　数理工学懇話会ーー小立野フォーラム

  ７月３日（木）１０：３０ー１２：００

  金沢大学工学部　秀峰会館１階中会議室

  「解析における計算可能性」

- 九州大学

  １２月１８日（木）

  講演者 八杉 満利子 （京都産業大学）演 題 連続体上の計算可能性 – 関数空間におけるアルゴリズム – 日 時 １２月１８日（木）午後２時 – ３時場 所 九州大学大学院数理学研究科工学部分室（九大工学部本館３階３１９号室）

  「計算可能性構造」によるいくつかの空間の計算可能性問題についての講演者たちの最近の仕事を含めての紹介がされる

4　学会等講演

1. 日本数学会　４月４日（森隆一、辻井芳樹、八杉満利子）…
2. 科学基礎論学会　６月８日（日曜日）１２時ー１２時２０分　於北海道大学・学術交流会館「距離空間におけるアルゴリズム」
3. 数理科学協会研究集会（JAMS'97）８月２７日　神戸大学発達科学部

   八杉満利子　解析学における計算可能性-入門-
4. 電気学会研究会・情報処理研究会「Computation とカオス」（招待講演）

   日時：９月１３（土）

   場所：早稲田大学理工学部

   IP-97-21 八杉満利子　解析におけるアルゴリズム–Pour-El 理論と BSS 理論–
5. 研究会「確率論と計算数学」

   日時：平成１０年１月２９日（木）14:50-15:40

   場所：九州大学箱崎キャンパス、国際ホール

   研究者：八杉満利子、辻井芳樹、森隆一（発表者）

   演題：　Effective Properties of Sets and Functions in Metric Spaces with Computability Structure

6. 日本数学会

   研究者：八杉満利子、辻井芳樹、森隆一（発表者）

   演題： Effective Properties of Sets and Functions in Metric Spaces with Computability Structure

7. 数学教育学会　シンポジウム　パネラー

   日時3月２８日（土）１０：００－１２：３０

   会場　名古屋名城大学天白校舎　理工学部　　　４号館　４１０教室

   テーマ「情報社会における学校・社会・数学」

   飯高　茂（学習院大学）、八杉満利子（京都産業大学）　利根川　誠（筑波大学附属高校）　町田彰一郎（埼玉大学）

5 学会等出席

日本数学会　４月１日ー３日　信州大学（松本）

1. 科学基礎論学会　６月７日ー８日（日曜日）北海道大学・学術交流会館
2. 証明論研究会　８月２５日　日本大学駿河台校舎
3. 数理科学協会研究集会（JAMS'97）８月２７日ー２８日　神戸大学発達科学部
4. TTP ９月８日ー１０日　東京工業大学
5. 電気学会研究会・情報処理研究会「Computation とカオス」９月１２日ー１３日
6. 数学教育研究会　９月１４日　学習院大学

   大学数学基礎教育　専門教育　情報班　第１回研究会（主催）　京都産業大学

   大学数学基礎教育　専門教育　情報班　第２回研究会（主催）　東京大学工学部　３月２日（月）午後１時ー４時半

6 研究費

- 計算機科学研究所
- 京都産業大学

- 科学研究費 (分担者)

  1. 浪川幸彦
     基盤研究 A
     研究課題 :大学数学基礎教育の改善についての総合的研究
     課題番号 :
  2. 小田秀典
     基盤研究 C1
     課題番号 :09630018
     研究課題 :セラ・オートマタと遺伝アルゴリズムの寡占市場の動学分析の応用

7 Mathematical Reviews

1. Title: The self-embedding theorem of WKL_0 and a non-standard method

   Author: Kazuyuki Tanaka

   Journal: Annals of Pure and Applied Logic 84 (1997) 41-49

   Number: 1440462

2. Title: Induction rules, reflection principles, and provably recursive functions

   Author: Lev D. Beklemishev

   Journal: APAL 85(1997) 193-242

   Number: 1451668

3. Title: On the proof-theoretic strength of monotone induction in explicit mathematics

   Author: Thomas Glass, Michael Rahtjen, Andreas Schlüter

   Journal: APAL 85(1997) 1-46

   Number: 1443274

4. Title: Cut-elimination in the theory of definable sets of natural numbers

   Author: Albert G. Dragalin

   Journal: Publ.Math.Debreen 51(1997) no1-2 153-164

   Number: 018162

8　研究所

平成9年度計算機科学研究所　共同研究
第一回セミナー
平成9年１０月１８日（土）　１３：3ー　　第2実験室棟
１４：３０　発表テーマ　「Computability problems in metric spaces」
発表者　八杉満利子